

2021 年度 事業報告書

2022 年 5 月 30 日

1, 2021 年度計画からの振り返り

(1) 2021 年度計画からの抜粋

2021 年度スローガン

つながり”を取り戻すことで誰もが安心して暮らせる「持続的地域」づくり

事業の4つの柱と骨子

今年度の事業の柱は以下の4つになります。

- 1 生きがいと張り合いのある健康寿命を実感できる、自宅以外の利用者の最も頼れる第2の居場所へ
- 2 センターの衛生管理の徹底を基本とし、利用者が安心して集え、他の感染症にも決して罹患しない清潔で安全なセンターへ
- 3 安心して暮らし続けられるように、支え合うケアを地域課題として住民主体での取り組みと、そのための支え合いや能力を活かせる「場」づくりと働きかけ
- 4 みんなで協同し「ともに生き、ともに働く」社会をつくる『協同労働』を地域のみなさんに伝え、誰もが安心して暮らせるまちづくり

講座・サークル・開放事業・各種行事運営、センター内で健康生活の啓発、ボランティア活動、従来のセンター管理（浴室・施設運営・維持・管理含む）、を行いました。

(2) 2021 年度各業務の到達点

1. 生活相談業務

今年度は、感染症のまん延対策をしながらの開館で、利用者の方も参加する講座やサークル、行事などを目的に来られ、短時間の利用でお帰りになる方が多く、従来のような気軽に事務室に来られて相談される機会は大変少なかったです。

しかしながら、今年度は、医療機関と組んで様々な相談事業をできる限り開催し、利用者が相談したいと思えることに注力いたしました。

暮らしの困りごと相談会 スマホ相談体験会 元気な今こそ備える認知症

ロコモ・フレイル予防のための栄養講座 歩行と健康 十勝チーズを知ろう！

チョコレートの世界へようこそ！ お菓子の飲み合わせとポリファーマシー 等を開催し同の相談会もすべて事前申込制で、すべて定員いっぱいでの開催でした。

また、月に2回開催されるイムス元気運動教室では、毎回理学療法士が来て、運動指導や健康増進のプログラムを開催し、利用者からの個別の相談にも毎回対応していただいて利用者の安心につなげています。

2.健康増進・機能訓練に関する業務

発声をともなう行事が制限されていることから、今年度も歌いま唱歌（ピアノの伴奏で童謡唱歌をみんなで歌う会）や、たまうた（ウクレレの伴奏で歌謡曲や唱歌などをみんなで歌う会）制限されたことから約半分の事業が行えず、目標 1000 名の参加者を見込んでおりましたが、延べ 45 回 784 名の参加しかありませんでした。

しかし、1月頃から、次年度の計画や講座の再開の計画を講師と話し合いを進め、歌いま唱歌の4月からの再開に向けて準備を進めています。

また、コロナ禍での講座の運営や利用者の健康づくりについて、オンラインでの利用者へ情報の伝達や映像での伝達など、札幌市から模索するように依頼されておりましたが、youtube による音楽配信の準備と機材をそろえて、12月より、手稲区内医療機関の入院患者様向けの LIVE 配信を始めました。

ピアノの伴奏による歌謡曲や童謡とウクレレグループによる歌謡曲の配信を行い、今期は3回行い映像は編集をして、ホームページ上で閲覧して楽しめるようにしています。

今後も毎月配信を行い、利用者へのスマートフォンの普及とともに様々な活用をしていく予定です。

3 教養講座に関する業務

今年度は、定員制の講座の募集時期が、感染症のまん延のピーク頃に当たりましたが、利用者の“今年こそは講座に参加したい”という思いと熱い期待があり、講座の募集は例年より申込者は少ないが、希望者はほとんど参加できる状況でした。

座学系の座って何かを学ぶものより、体を動かして何かをしたいと訴える利用者が非常に多く、従来行っていた健康増進のプログラムだけでは人があふれてしまう状況が続きました。そこで、下期の短期講座に、あしこし体操・はじめてのゆったりヨガ・太極拳はじめの一步・筋膜リリース&セルフマッサージ・エアロビクス・ダンスエアロ・はじめよう太極拳と7講座を新設して、ロコモフレイルが心配な利用者にとどんどん参加してもらい、一定の評価をいただきました。

また、前年度再開できなかった期繰り越しの講座（ハーモニカ・コーラス）については再開をして、利用者の向学心に応えています。

すべての講座において、利用者の満足度が非常に高いのは、講師の方々の丁寧な指導とフレンドリーな対応に満足されているところが大きいと思います。

4 レクリエーション・各種行事に関する業務

センターでは、健康増進・機能訓練に関する業務と並んで、積極的に企画している業務です。見て楽しむ行事～参加して楽しむ行事まで多彩に企画をしておりましたが、スポーツ交流行事、お祭り盆踊り、演芸発表会、落語会、健康測定会、音楽会など一部の季節行事を除いて今年度もほとんど中止といたしました。

少ない開催の中でも、クリスマス音楽鑑賞会・映画観賞会・折り紙教室・陶芸教室など大人数で参加して楽しい雰囲気を楽しむものの満足度が高かったと思います。

次年度は、遠足などの屋外行事や、社会見学会、少人数での各種の発表会、カルチャーナイトなどの地域開放行事、保育園のいも掘り体験などの交流事業など少しづつ元に戻していきたいと考えています。

5 高齢者の活動支援及び地域開放に関する業務

センターの利用で、従来の活動の中で、教養講座と並んで開催回数・利用者が多い活動がサークル活動です。

教養講座で学んだものを、同じ時に学んだ仲間とサークルを作り活動を継続していくことは、これまでとても多く、センターとしても活動支援を行ってきました。

しかし、昨年度から続く感染症のまん延で、度重なる休館が続き、継続的に活動をする意欲や意義が徐々に薄れ、活動を休止するサークルが増えてきました。

活動しているサークルでも、1サークルあたりの参加人数が以前の半数程度の人数での活動が散見され、活動自体の活気は大変落ちてきています。

しかし、新しいサークルを新たに立ち上げ、活動を始めるグループもあり、活動に対する温度差も大変大きく感じています。

今後も継続して活動が行えるように、センターとして支援できることは積極的に行いながら、諸問題を解決していきます。

ボランティア活動はセンターが特徴として積極的に広げている活動のひとつで、センター内外の緑化美化を主にお手伝い頂きますが、ボランティアの日を設けて毎月参加を促す行事がありましたが、今年度は、春の近隣ごみ拾いと冬の年末大掃除のみとしました。

手稲駅北口のフラワーロードのボランティア活動は、屋外活動なので感染対策を取りながら行い、ボランティアに参加してくれる利用者が微増しました。

その他、提携医療機関での野菜栽培、大学でのフードパントリー活動など、楽しみながら参加してくれる利用者が増えました。

6 その他施設の設置目標を達成するために必要な業務

講座やサークルに参加して、学んだことや技術をインプットするだけでは、利用者の活動はマンネリになり、活動を継続するモチベーションが必要と考えています。

センターでは、踊りやダンス、歌や楽器演奏は、秋に開催する演芸発表会が一番の披露する機会ですが、今年度も発表者の練習する機会が少なかったことと、感染症のまん延が収まらないことから今年度も中止といたしました。

また、各所への慰問活動も依頼少なかったのですが、センターで活動するウクレレグループが、近隣の町内会のクリスマス会に呼ばれ、歌と演奏の披露に行きました。

民謡踊りのグループも、今年度はほとんどの夏の盆踊り大会は中止となり、出張慰問の機会がなく、楽しみが少なかったと言っておられました。

しかし、先に述べたように、コロナ禍でも出来る行事として、作り物を中心とした、卒業作品展示会、それらを映像で記録して、広く多くの方に見ていただけるようにしました。

次年度は、さまざまな披露する機会を通じて、地域づくりや参加される本人たちの健康づくりに生かしていける活動を積極的に推進していきます。

7 その他の業務

●世代を超えた総合介護予防の場から支え合い（生活支援）の場へ

新たな居場所を作っていくことを目的に、医療法人のデイサービス部門の使っていた場所をお借りして行っていましたが、コロナ禍で入館することができなくなり、新たな活動拠点を作っていくことになりました。

利用者や地域の方々に参加していただいて“まちづくり講座”を行い、どのような活動が地域に求められているか、自分たちは何をしてあげられるのか、という視点で話し合いを進めていて、新たな活動が始まっています。

医療法人での野菜作りのボランティアや北海道科学大学でのフードパントリー活動など地域の困りごとや、手伝ってほしいことを相互に行う活動を継続して行っています。

次年度は、子育て支援のサロンやオレンジカフェの開催などさらに地域の方がと一緒にできる活動を増やして行って、地域交流拠点を設ける計画です。

●SDG s を意識した運営について

健康長寿社会の実現

身体健康と精神健康、そしてコミュニケーションの良好さが、幸せな長寿を作る最大の要因だと考えます。今後もここに注力いたします。

資源・エネルギーの効率的利用・再生

水道光熱費の価格が異常に高騰する状況で、水道光熱費の削減は、具体的な削減計画と委員会をつくって組織的に削減をしています。また、センター内で出た刈草を堆肥化する資源の再生に今年も取り組み、センター内の畑や花畑に利用し循環させています。リングプルやペ

ットボトルキャップ等のリサイクルできる資源、古紙や段ボールなどもすべて再生利用に回しています。

住み続けられるまちづくり

住み慣れた地域で、誰もが和やかに過ごしていくため、地域づくりのテーマを、“顔が見えて困ったときに助けて”といえる活動をしていきたいと考えています。
センターを中心に関係機関との連携の中で果たしていく役割はとて大きいと感じています。

2, 具体的な活動項目・活動結果と評価

1) 2021 年度の利用者数推移

① 新規登録者数と総利用者数

【新規登録者数】

2020 年度	2021 年度
68 名	90 名

【総利用者数】

2020 年度	1 日平均利用者	2021 年度	1 日平均利用者
9,487 名	35 名	11,859 名	54 名

269 日開館

② 講座・サークル・開放など日々の主な活動への参加人数

	2020 年度	2021 年度	
卓球（開放）	454 名	960 名	
囲碁将棋（開放）	887 名	1,621 名	
読書	173 名	107 名	貸出は 53 冊
講座	3,624 名	3,948 名	
サークル活動	2,179 名	2,644 名	
サークル数	50	50	

③ 自主企画（旧 2 次介護予防修了者の受け皿を兼ねた事業）への事業参加者数

	2020 年度	2021 年度
テイク 10	46 名	81 名

たまうた	中止	中止
歌いま唱歌	中止	中止
お茶の間ぬくぬく	中止	中止
ビデオ体操	261名	182名
イムス元気運動教室	127名	124名
脳トレサロン	102名	81名

④ 各種行事への参加者数

2020年度	2021年度
895名	525名

2021年度開催した各月の行事

- 4月 サークル懇談会・まちづくり打ち合わせ・フラワーボランティア・近隣ごみ拾い
- 5月 休館 フラワーボランティア 札幌市立大学 WEB 講義
- 6月 休館 フラワーボランティア
- 7月 まちづくり打ち合わせ・フラワーボランティア カルチャーナイト展示
- 8月 休館 フラワーボランティア
- 9月 休館 フラワーボランティア
- 10月 まちづくり打ち合わせ・フラワーボランティア・スマホ相談会・医療講話
北海道科学大学看護学部実習
- 11月 避難訓練・まちづくり打ち合わせ・折り紙教室・体力測定会
- 12月 クリスマス音楽鑑賞会・映画鑑賞会・まちづくり打ち合わせ・ボランティアの日
LIVE 配信・陶芸教室・スマホ相談会・医療講話
- 1月 まちづくり打ち合わせ
- 2月 LIVE 配信・生活健康講話・作品展示会・ゆったりヨガ教室・新年度講座募集
- 3月 まちづくり打ち合わせ・映画観賞会・LIVE 配信・ゆったりヨガ教室
新年度短期講座教室募集

各種ボランティア活動、懇談会、実行委員会など

【センター外部での活動】

懇談会・実行委員会など	52名
ボランティア 野外ゴミ拾い含む	18名
出前（老人クラブ、高齢者施設など慰問）	4名
JR 手稲駅北口の緑化ボランティア	118名
合計	192名
【参考】初心者囲碁教室（囲碁世話人会主催）	中止 0名

手稲駅北口の花のお世話は、今年度も屋外活動なので行いました。

⑤多世代交流としての学生などの受け入れ

例年行う、曙保育園との交流はすべて中止。手稲鉄北小学校、札幌高等養護学校、札幌市立大学との通常の実習は中止。札幌市立大学はWEB講義をいたしました。

【多世代交流】

学生や学童・児童の受け入れ	6名
---------------	----

⑥相談業務

2012年度後期より、相談の中でも特に注意すべきものについては記録に残すようにし、時系列に記録を残すことで、ご家族への連絡や地域包括への相談など、こまめに対応できるようになっています。

年々細やかな対応が必要な利用者が増加していると実感しています。

【健康相談、および健康講話参加者人数】

健康相談+生活相談	41名
健康講話	162名
血圧測定	211名

3. 環境配慮に関する具体的活動結果

1) 電気使用量とガス使用量・水道使用量

	2020年度	2021年度
ガス使用量	24,156 m ³	24,382 m ³ (100.9%)
電気使用量	54,820kWh	57,742kWh (105.3%)
水道使用量	972 m ³	985 m ³ (101.3%)

*前年度比若干プラスになってはいますが、利用人数が前年度より10%以上増えている影響。削減に努めたが、猛暑と異常な降雪の影響で電気使用量の削減は難しかったです。

2) 枯れ草等の堆肥化と新たな花壇スペース

今年度も、敷地内の雑草は、すべて職員で刈り取り、通常ごみには出さず、堆肥ヤードで雑草堆肥を作りました。堆肥ヤードは2か所設け熟成の具合で、分けて管理をしています。

春先に、センター内の花壇やプランターの土に混ぜ込み活用しています。

今年度は、さらにセンター入り口前の駐車場の後ろが、長年雑草が生えるところで、都度の草刈りが必要でしたが、緑化スペースとして生まれ変わらせ新たな花壇スペースを作りました。様々な植物が見られるガーデンスペースとして、センター利用者だけでなく、近隣の公共施設の利用者や地域の住民の方々まで、楽しめる新たな憩いの場としました。

3) その他 環境配慮の取組

2021 年度も、リングプルとペットボトルキャップの回収は、感染症蔓延防止の観点から衛生面などを考慮して一時休止いたしました。

環境配慮・リサイクルの観点から次年度は、再開していく予定です。

4. 運営管理に関するその他の計画

1) 計画修繕など

- ・浴室混合水栓バルブ交換を行った。
- ・壁ひび割れ補修、コーキング打ち直し、軽微な塗装、カーペットの補修等休館中に多くの細かい営繕修理を行った。
- ・キュービクルへの引き込み線の経年劣化につきましては、札幌市の建築課の修繕要望依頼に記しています。

2.) 年間研修参加実績

《参照資料 昨年度参加した研修や会議》

- “利用者への伝え方についてみんなで考えよう” 4月15日
- 職員同士理解を深めよう この人のこんないいところ・こんな良い仕事 5月13日
- 産業医健康づくり研修 6月2日
- 労務関係研修 6月4日
- 環境問題とSDGsについての研修 6月15日
- 新所長・現場責任者研修 ① 7月16日 17日
- WORKERS 被災地に起つ 7月14日
- 共生ケアPJ研修 7月20日
- 総務経理担当者研修 7月29日
- 新所長・現場責任者研修② 9月2日 3日
- 支所長・現場責任者研修③ 9月28日 29日
- 避難訓練・消防訓練についての研修 9月15日
- 全国共生ケアPJオンライン研修会 9月22日
- 安全衛生推進研修 10月6日
- 家庭訪問型子育て支援事業について 10月15日
- 防火管理者協会教養セミナー 11月10日
- 職場環境改善について 11月15日
- 普通救急講習会 11月18日
- 全国小農森林推進研修 11月21日
- 全国公共コモン研修 12月9日
- 共生PJリーダー研修 12月13日
- 職場環境話し合いについて 12月15日
- 全国所長研修 1月20日 21日

- 新入団員研修 2月19日
- 公共施設老福研修 3月1日
- 年度振り返り経営数値研修 3月15日
- 手稲区自立支援協議会こどもG 3月25日

他

3) 防災計画

- 火災避難訓練 (9/15 に実施)
通報訓練 避難誘導訓練 (職員のみで実施)
- 防災避難訓練 (11/22 に実施) 参加者 43 名
通報訓練 地震から身を守る訓練 避難誘導訓練
- その他 消防署や防火協会などが主催する訓練や、自主防火訓練、各種 WEB 研修

4) 定期清掃計画

日常清掃に加えての定期清掃計画については、日程の変更はありましたが、ほぼ計画通り実施いたしました。

今年度も休館期間に、通常清掃では普段できない、LED 電器の器具の清掃、館内すべてのカーテンのクリーニング、室内の高所壁面の消毒清掃など実施いたしました。

備品・器具類の洗浄から除菌、壁面やカーペットへの除菌清掃など COVID19 対策としてさらに徹底的に複数回にわたり行いました。

5) ウェブアクセシビリティ対応

2019 年度中にウェブアクセシビリティ方針をもとにホームページを 9 月に全面更改し、誰もが見やすいホームページにいたしました。文字の大きさ、背景の色、フォントの色など視覚障がい者の方でも自分の見やすいように自在に変更できるようになりました。

2021 年度も 3 月に試験を行い今年度も JISX8341-3:2016 の適合レベル AA に準拠

5) 利用率と満足度目標

年間開館日数：312	(%)
大広間	24.32%
多目的室	50.23%
教養講座室	36.36%
職能訓練室 1	47.95%

(1) 利用率 : 59.7%

【令和3年度の利用率】

職能訓練室 2	25.23%
和室	12.95%
機能訓練室	100.00
集会室	100.00
機能回復訓練室	100.00
娯楽室	100.00
	58.3%

(2) 満足度 :

《令和元年度アンケート結果より》

※アンケート結果全体については別紙参照

① センターの運営・スタッフの対応に関して

満足 56.3%

やや満足 31.8% 満足・やや満足計で 88.1%

ふつう 11.9%

やや不満足 0.6%

不満 0%

② センター全体を通して

満足 29.8%

やや満足 51.7% 満足・やや満足計で 81.5%

ふつう 15.2%

やや不満足 0.7%

不満 0%

③ 行事を通して

満足 64.1%

やや満足 20.1% 満足・やや満足計で 84.2%

ふつう 15.8%

やや不満足 0%

不満 0%

様式1 令和3年度手稲老人福祉センター収支決算書(総括表)

単位:千円

1 収入

項目	決算額	摘要
指定管理費	40,697	
利用料金収入	321	
コピー・ピンク電話事業収入(指定管理業務)等	23	
自動販売機	107	
札幌市地域支援事業収入(受託事業)	0	
収入計(A)	41,148	

2 支出

大項目	中項目	小項目	決算額	摘要
指定管理業務	管理費	人件費	18,482	
		物件費	20,799	
		小計	39,281	
	事業費	人件費	0	
		物件費	0	
		小計	0	
指定管理業務計			39,281	
自主事業	管理費	人件費	101	
		物件費	49	
		小計	150	
	事業費	人件費		
		物件費		
		小計		
自主事業計			150	
受託事業	管理費	人件費	0	
		物件費	0	
		小計	0	
	事業費	人件費		
		物件費		
		小計	0	
受託事業計			0	
支出計(B)			39,431	

3 収支

項目	金額	備考
当期利益(A-B)	1,717	
自主事業による利益還元(C)	102	
法人税等(法人税、住民税及び事業税)(D)	526	実効税率30.62%で計算
当期純利益(A-B-C-D)	1,089	

注)

- 1 施設において自主事業として実施する、札幌市その他の機関や団体からの受託事業の実施を予定している場合には、当該受託事業をその他の自主事業と区分して記載してください。(様式2以下についても同様です。)
- 2 収入の表は、様式2に基づき作成してください。なお、行が足りない場合は、適宜追加してください。
- 3 支出の表は、様式3に基づき作成してください。
- 4 収支の表の法人税等欄については、予想される税金の額を記載してください。

様式2 令和3年度手稲老人福祉センター収支決算書(収入)

1.利用料金収入

単位:千円

区分	単位	利用料金 (単価)	利用回数	決算額	備考
浴室	午前				
	午後				
	夜間				
	全日	0.2	1171	234	
	計			234	
	午前				
	午後				
	夜間				
	全日				
	計				
	午前				
	午後				
	夜間				
	全日				
	計				
	午前				
	午後				
	夜間				
	全日				
	計				
総計				234	

- 注) 1 行が足りない場合は、適宜追加してください。
 2 税込で記載してください。

2. 指定管理業務の事業収入、自主事業収入、受託事業収入

単位:千円

項目	事業名	決算額	摘要
指定管理 業務	コピー代	23	
	ピンク電話	0	
	行事などによる雑収入	0	
	指定管理業務事業収入計	23	
自主事業	自動販売機手数料	107	
	自主事業収入計	107	
受託事業	札幌市介護予防自立支援事業	0	
	委託事業収入計	0	
事業収入計		130	

- 注) 1 項目毎に、事業単位で記載してください。
 2 行が足りない場合は、適宜追加してください。
 3 税込で記載してください。
 4 自主事業において札幌市その他の機関や団体からの補助金の交付を受ける予定がある場合には、摘要欄に補助金の交付元名、補助事業名、補助率等を簡潔に記載してください。
 5 受託事業欄は、様式1(注1)の事業について記載し、摘要欄には委託元名(予定)に記載してください。

様式3 令和3年度手稲老人福祉センター収支決算書(支出)

単位:千円

項目	科目	指定管理業務		自主事業		受託事業	
		管理費	事業費	管理費	事業費	管理費	事業費
人件費	給料手当	16,476			86		
	臨時雇賃金	0					
	福利厚生費	192					
	法定福利費	1,814			15		
	人件費計	18,482			101		
物件費	旅費・交通費	850					
	光熱水費	4,991		32			
	通信運搬費	411					
	租税公課	1,981					
	広告宣伝費	0					
	保険料	17					
	賃借料・使用料	26					
	リース料	538					
	修繕費	230					
	消耗品費	640					
	備品費	451					
	印刷製本費	206					
	諸謝金	1,392					
	委託費	3,123					
	支払手数料	25					
	減価償却費	0					
	教材・材料費	158					
	法人経費	5,760					
	行政財産の目的 外使用料				17		
	物件費計	20,799	0	49	0	0	0
支出計	39,281	0	49	101	0	0	

注)

- 1 行が足りない場合は、適宜追加してください。
- 2 税込で記載してください。
- 3 管理費、事業費を区分する際の考え方は次のとおりとします。
 - ・管理費:施設における事業を管理するために経常的に要する費用。管理部門の費用など。
 - ・事業費:施設における事業の目的のために直接要する費用で管理費以外のもの。
- 4 受託事業欄は、様式1(注1)の事業について記載してください。
- 5 自主事業、受託事業において事業数が複数の場合、各事業の合計額を記載してください。

様式5 令和3年度収支決算書(支出)の内訳(物件費)

単位:千円

1 指定管理業務

科目	決算額		摘要
	管理費	事業費	
旅費・交通費	850		会議費・教育研修費・旅費交通費
光熱水費	4,991		除雪機燃料費含む
通信運搬費	411		
租税公課	1,981		全体の仮払い消費税含む
広告宣伝費	0		
保険料	17		
貸借料	26		会場費+レンタル料
リース料	538		
修繕費	230		保守管理費含む
事務消耗品費	640		衛生管理費含む(抗原検査ペン)
備品費	451		
印刷製本費	206		
諸謝金	1,392		
委託費	3,123		ゴミ処理料含む
支払手数料	25		諸手数料含む
減価償却費	0		
教材・材料費	158		材料費・教材費・行事費・新聞図書費・諸会費
法人経費	5,760		14%
計	20,799	0	

注)

- 1 行が足りない場合は、適宜追加してください。
- 2 税込で記載してください。
- 3 摘要欄には各科目の予算の積算内訳を記載してください。

2 自主事業

科目	決算額		摘要
	管理費	事業費	
旅費・交通費			
光熱水費	32		
通信運搬費			
租税公課			
広告宣伝費			
保険料			
賃借料			
リース料			
修繕費			
消耗品費			
備品費			
印刷製本費			
諸謝金			
委託費			
支払手数料			
行政財産の目的外 使用料	17		
計	49	0	

注)

- 1 行が足りない場合は、適宜追加してください。
- 2 税込で記載してください。
- 3 摘要欄には各科目の予算の積算内訳を記載してください。

3 受託事業

科目	決算額		摘要
	管理費	事業費	
旅費・交通費			
光熱水費			
通信運搬費			
租税公課			
広告宣伝費			
保険料			
賃借料			
リース料			
修繕費			
消耗品費			
備品費			
印刷製本費			
諸謝金			
委託費			
支払手数料			
教材・材料費			
計	0	0	

注)

- 1 行が足りない場合は、適宜追加してください。
- 2 税込で記載してください。
- 3 摘要欄には各科目の予算の積算内訳を記載してください。